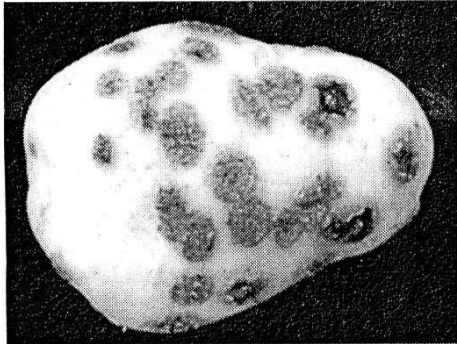


農業技術 プリズム



ジャガイモそうか病に罹病した塊茎

ジャガイモそうか病はジャガイモの主要な病害で、罹病（りびょう）するとかさぶた状の病斑ができるため、商品価値が著しく低下します。

ジャガイモそうか病

土壌 PH 4 以上で 発病塊茎率高まる

土壌特性を示す指標の一つであり、PH (KCl) は PHメーターで簡易に測定することができます。そこで、ジャガイモ収穫後の PH (KCl) と次作のそうか病発生程度との関係を調査しました。

調査しました。

県内の3圃場（ほじょう）において2013～15年に「ニシユタカ」で調査した結果、PH (KCl) が4以上になると、発病塊茎率が高くなる傾向にありました。なお、具体的にPH (KCl) がどのくらいの数値になるとそうか病の発生が抑えられるのかは、地域や土壌の種類によって異なる可能性があるため、今後はこのような観点からデータの蓄積が必要になります。

本研究は農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業「次世代型土壌病害診断・対策支援技術の開発（13～15年度）」において取り組んだ成果です。

（環境研究部門土壌肥料研究室 主任研究員 田畑士希）

必要ありませんが、やや煩雑な実験操作が必要になります。

一方、交換酸度は土壌をKCl溶液で抽出した液のPHと関係が

下PH (KCl) と関係がある